



高階南小学校では、理科好きの児童の育成を目指した取り組みをしています。
このページでは、児童が行っている理科の授業やクラブの活動などを紹介します。

1学期の授業から

■ 出前授業（6年生）

6月30日（火曜）、「川越市小・中・大学連携理科ふれあい事業」で、城西大学理学部の先生にご来校いただきました。

本校の6年生が、液体窒素の実験を通して「超低温の世界」を学習しました。

液体窒素につけたゴム管が割れたり、生花がバリバリと音を立てて崩れたり、液体窒素で冷やした液体酸素・ドライアイスを作るなど、たいへん興味関心の持てる内容でした。感動と驚きが連続した1時間でした。



↑液体窒素をワイングラスに注ぐ



↑液体窒素につけた菊の花を、握りつぶす。バリバリと音がして、粉々になりました。一人一人が体感することができました。

■ 植物の成長（4年生）・花のつくり（5年生）・植物のつくりとはたらき（6年生）

4月中旬、各学年で学校の花壇に種まきをしました。

いつ、どんな芽を出すのか楽しみです。

日時	学年	植えたもの
4月13日（月曜）	5年生	ヘチマとトウモロコシの種
4月16日（木曜）	6年生	ジャガイモの種いもとホウセンカの種
4月17日（金曜）	4年生	ヘチマとヒョウタンの種



↑種まきの準備をする4年生



↑ヘチマ・トウモロコシの種を植える5年生

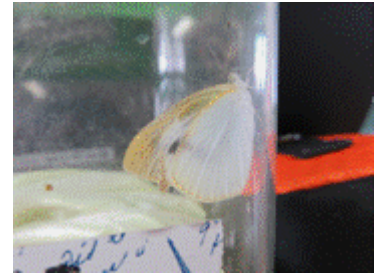
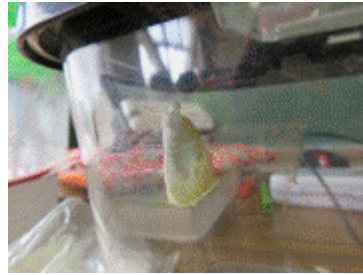
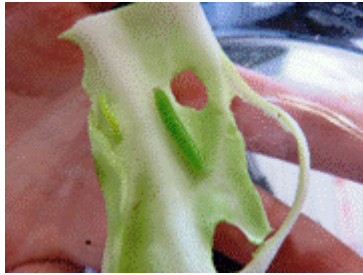


■ チョウの育ち（3年生）

モンシロチョウやアゲハチョウは、どのように育っていくのか調べました。

5月末から6月にかけて、卵から成虫になるまで教室で、キャベツなどを与えながら育て、観察しました。

児童は変わっていくモンシロチョウに驚き、興味を持ちながら成長を喜んでいました。



■ 光電池のはたらき（4年生）

光電池への光の当て方を変えると、電気のはたらきは変わるのか、モーターに付けたプロペラの回転する速さで調べました。光電池に光が当たりプロペラが回り始めると、大きな歓声があがりました。



■ メダカのたんじょう（5年生）

あたたかくなって水温が高くなると、メダカはたまごを産むようになります。

メダカをペットボトルで作った水そうで育て、産まれたたまごやその中のようすを解剖顕微鏡、双眼実体顕微鏡で調べました。

メダカは、たまごの中に含まれている養分を使って育ち、様子がだんだんと変化して、メダカらしくなることが分かりました。

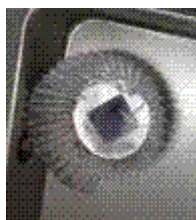




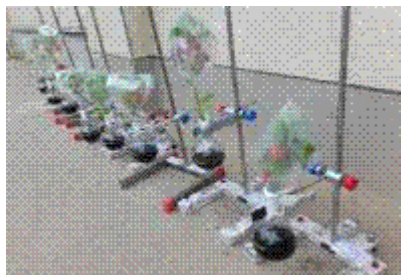
■ だ液による食べ物の変化（6年生）

食べ物は、体内でどのように変化するのか調べました。だ液をしみこませたろ紙に、うすいデンプンのりを落とし、2～3分後に、ヨウ素液をつけてみたところ、変化はありませんでした。

このことから、だ液のはたらきによって、デンプンが別のものに変化したことが分かりました。だ液のはたらきの素晴らしさを実感しました。



■ 植物のつくりとはたらき（6年生）



根が取り入れた水は、どこをかって、植物の体に行きわたるのかを調べました。色を付けた水に根の先を入れ、数時間後、根・茎、葉の断面を観察し、根から葉に続く水の通り道があることが分かりました。

実験後、教科書にのっていた「花びらがカラフルなバラ（レインボーローズ）」を作りたいと、意欲を示す児童もいました。どのように色をつけるのか考えながら、挑戦してみてください。楽しみです。